

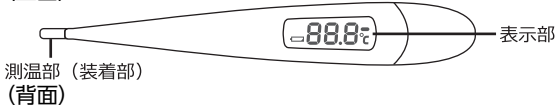
機械器具 16 体温計
管理医療機器 電子体温計（JMDNコード：14032010）

テルモ電子体温計C217

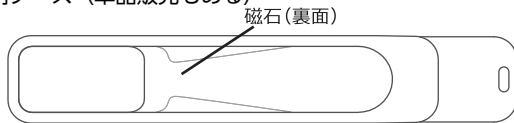
【形状・構造及び原理等】

<構造図>

●本体 (正面)



●収納ケース（単品販売もある）



●表示部

※説明のため、全点灯で表示

- ・初期動作確認機能（告知機能）
電源が入った時に所定の表示をし、検温可能を告知する。
- ・エラー表示機能（告知機能）
検温不良時、ブザーが鳴動し、表示部に「E」を表示する。
- ・使用温度範囲外表示機能（告知機能）
使用周囲温度が、使用条件の範囲外の場合は、表示部に「Hi」又は「Lo」のマークを表示する。
- ・動作不能告知表示機能（告知機能）
体温計が動作異常を検知した場合は、「EE」のマークを表示する。
- ・無線通信機能（外部出力機能）
通信が完了すると、表示部に「End」を表示する。
通信エラー発生時、ブザーが鳴動し、表示部に「E-C」を表示する。

「最新値表示」マーク 通信時に最新の体温値とともに表示する。



外観寸法：長さ129mm×幅17.6mm×厚さ12.6mm
質量：約14.0g（電池含む）

【機器の分類】

電撃に対する保護の形式による分類：内部電源機器

電撃に対する保護の程度による装着部の分類：BF形装着部

水の浸入に対する保護：IPX7

【電気的定格】

電源：酸化銀電池（SR936）2個（交換不可）

電圧：DC3.1V 消費電力：約1.2mW

<原理>

本品は、サーミスタの抵抗変化を利用して温度を検出し、検温開始から約4分30秒までは予測値、それ以降は実測値の最高値をデジタルで表示する。検温中は、平均約30秒（およそ25秒～40秒）で予測が成立したことを知らせるブザーが鳴り、検温をそのまま続けると、検温開始から約10分後に実測検温終了のブザーが鳴る。

【仕様に係る事項】

最大許容誤差（温度指示特性）：±0.1℃以内（標準温度計に対して）

測温範囲：32.0～42.0℃

使用条件：周囲温度 10～40℃

相対湿度 30～85%RH（ただし、結露なきこと）

周囲気圧 700～1060hPa

【使用目的又は効果】

<使用目的>

測温部を部位に接触させて、腋窩の体温を測定し、最高温度を保持しデジタル表示すること。

【使用方法等】

初めて使用するときはNFCリーダー/ライターの中心に本体背面をかざして（タッチして）、日付と時刻の設定を行う。（日付と時刻は体温計表示部には表示されません。）

【測定方法】

1. 体温計を収納ケースから取り出す（電源が入る）。
2. 体温計の先端（測温部）をななめ下から30° くらいの角度でワキ下中央に押し上げるようにあてて、ワキをしっかりとしめる。
3. 検温終了後、体温計を収納ケースに入れる（電源が切れる）。

<使用方法等に関連する使用上の注意>

1. 子供だけで使わないこと。
2. 引火性のある環境では使用しないこと。
3. 以下の項目は予測/実測精度に影響するため、注意すること。
 - (1) 飲食後、運動後、入浴後、外出から帰宅後はすぐに検温せず、30分ほど待ってから測ること。
 - (2) ワキ下に汗をかいている場合は、タオル等で汗を拭き取ること。
 - (3) 検温中は、体を動かしたり、体温計を動かしたりしないこと。
 - (4) ワキ下に強く密着させて測定すること。
 - (5) くり返し検温するときは、少し時間をおくなど体温計の先端（測温部）を冷ましてから検温すること。
4. 強い静電気や電磁波、磁石等に近づけないこと。携帯形RF通信機器（アンテナケーブル及び外部アンテナなどの周辺機器を含む）を、体温計のあらゆる部分から30cmよりも近づけないこと。
5. 本品は、衝撃、振動、塵埃、噴霧、腐食性ガス等の発生する場所で使用しないこと。
6. 分解、修理、改造は行わないこと。
7. 体温計を廃棄する際は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）に従って適切に廃棄すること。

【使用上の注意】

<重要な基本的注意>

1. 本品の表示部を強く押さえたり、ボールペンやツメ等、硬いもの、先の尖ったものでつついたりしないこと。
2. データ転送時以外は、本品をNFCリーダー/ライターに近づけないこと。【表示動作に時間がかかったり、意図しないデータ通信を行う可能性がある。】
3. データの転送完了後は、本品をNFCリーダー/ライターの通信エリアから離すこと。【電池の寿命が短くなる。】
4. 本品をNFCリーダー/ライターにかざす際は、複数台同時には行わないこと。【誤った通信が行われる可能性がある。】

【保管方法及び有効期間等】

<保管方法>

暖房器具のそば、車の中、日光のあたるところ、ほこりの多いところ、湿気の多いところを避けて保管すること。

保管条件：周囲温度 -10～50℃

相対湿度 30～95%RH（ただし、結露なきこと）

周囲気圧 700～1060hPa

【保管上の注意】

電池の寿命が短くなるので、必ず収納ケースに収めて保管すること。

<耐用期間>

耐用期間：5年、あるいは連続使用で、約10,000回（予測検温）（自己認証による）

【保守・点検に係る事項】

【保守点検上の注意】

1. 本体と収納ケースを洗う際は、水で洗うこと。収納ケースに収める際は、乾いた布等で水気を拭き取ること。
2. 消毒する際は、消毒用アルコール綿で清拭して自然乾燥させること。
3. 使用可能な消毒液（成分名）の例は以下のとおりである。
クロルヘキシジングルコン酸塩/ベンザルコニウム塩化物/次亜塩素酸ナトリウム/グルタール
4. 必要時間以上、消毒液につけないこと。必要な時間、濃度については消毒液の電子添文を参照すること。
5. 熱湯消毒（50℃以上）しないこと。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：テルモ株式会社

電話 番 号：0120-12-8195 テルモ・コールセンター

外国製造業者：泰尔茂医療産品（杭州）有限公司

Terumo Medical Products (Hangzhou) Co., Ltd.

国 名：中華人民共和国

取扱説明書を必ずご参照ください。

TERUMO